

中込地区のまちづくりの構想策定に係る有識者会議（第2回）

議 事 録

日時：令和3年6月29日（火）

午後2時00分～

場所：佐久市役所8階 大会議室

○ 議事次第

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 中込地区のまちづくりの在り方検討会におけるまちづくりの方向性の中間整理について

(2) 中込地区のまちづくりの方向性について

(3) まちづくりの方向性を踏まえた個別事項の検討項目について

4 その他

5 閉会

発言者	発言
小林部長	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>佐久市企画部長の小林と申します。この4月に企画部長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>さて、中込地区のまちづくりの構想策定に係る有識者会議の開催に当たり、一言ごあいさつを申しあげます。</p> <p>皆様には、公私とも、ご多忙のところ、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>これまで、3月末に開催いたしました第1回目の有識者会議に加え、中込地区で活動される皆様にそれぞれのお立場で参画していただいております「中込地区のまちづくりの在り方検討会」で、中込をどのようなまちにしたいか、まちづくりの方向性について、議論を重ねていただいたところでございます。</p> <p>また、ご意見を伺っておりますと、まちの分岐点を迎えている、この中込を何とかしたいという皆様の強い想いを感じているところでございます。</p>

石山座長	<p>本日は、これまでのご議論の内容を中間整理させていただき、まちづくりの方向性の意見集約を図るとともに、個別事項の検討にも踏み込んでまいりたいと考えております。</p> <p>委員の皆様には、それぞれの知識、ご経験などから忌憚のないご意見、ご提言を賜りますようお願い申し上げ、甚だ簡単ではございますが、開催に当たってのご挨拶とさせていただきます。</p> <p>3 議事</p> <p>有識者会議 座長の石山でございます。</p> <p>本年度もよろしくお願いいたします。</p> <p>早速ではございますが、議事事項（１）「中込地区のまちづくりの在り方検討会におけるまちづくりの方向性の中間整理について」及び（２）「中込地区のまちづくりの方向性について」、一括して議題といたします。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（１）中込地区のまちづくりの在り方検討会におけるまちづくりの方向性の中間整理について</p> <p>（２）中込地区のまちづくりの方向性について</p> <p>【資料 2, 3 により説明】</p>
石山座長	<p>ただ今、事務局から説明をいたしました、「在り方検討会の中間整理」及び「まちづくりの方向性」について、ご意見等を頂戴したいと思っておりますが、その前に、資料 4 として、廣末委員から恵仁会でのアンケート調査結果の資料が提出されていますので、廣末委員からご説明をお願いいたします。</p> <p>【資料 4 により説明】</p>
委員	<p>先日、女性の意見が少ないという意見があったため、中込の恵仁会施設にいる 334 名の職員にアンケートを取ってまいりました。</p> <p>恵仁会の職員は、600 人いるのですが、半数が中込地区に居住しており、ほとんどが女性です。若い人が多いかと思いきや、40 代の子育て世代が一番多く、お母さんがほとんどだということが分かりました。住んでいる場所は中込、野沢、平賀、内山地区の方が多いです。「中込に行きますか？」と尋ねると、ほとんどの</p>

方が「行かない」という回答なのですが、行かない理由として、「シフト勤務しているので直行直帰が多い」、「中込に住んでいるわけではないから」という声がありました。

次の目的ですが、私たちの年代は、物販のほとんどを通販か量販店を利用するため、買い物目的は少なく、やはり飲食目的で、今はできませんが、以前は宴会で中込へ行くことが多く、二次会や三次会もずっと中込で過ごすことが多く、飲食目的が一番多かったです。今の時期はキッチンカーが来ているので、そこへ行く職員も多いです。病院はシフト勤務なので、レストランに長居することもできず、テイクアウトをすることが多いです。もっとテイクアウトのお店がないかと探しています。

あとは、八十二銀行がなくなったことが非常に不便です。スーパーで夕飯の買い物がお昼休みにできれば良いという意見がありました。これは恵仁会の広報が調べたそうですが、調べものをするツールは、主にスマホかPCで、あまり印刷物は見ないことが分かりました。地域情報の重要度に「あるならほしい」とありますが、それを辿っていくとキッチンカーなどに行くことは行くんですよね。あと、学用品のリユースを利用する人たちもいるので、そういうときにSNSの情報があると、行くということが分かりました。恵仁会の掲示板に広報がキッチンカーの情報を載せてくれるので、それを見て私もよく買いに行くので、そういう情報はあったほうがよいと思います。

余談ですが、先日、中込商店街のホームページを見たら、なかなか更新ができていないことが判明しまして、大工原さんや井出さんに聞いたところ、「忙しくてできず困っている」と言っていました。恵仁会の広報でボランティアでお手伝いできるかと言われると、難しいかと思います。これから先、SNSや商店街のホームページを更新する人材が必要になってきていることが分かりました。

飲食店の利用頻度は、週1回～月1回程度ということで、割と時間に余裕がある人は行けますが、色々なお店に行きたいけど、いつも同じお店になってしまうところがあるようです。職員も歓送迎会を中込でやることが多いので、たくさん行ける料飲のお店があるほうがありがたいとのことでした。勝手な意見で申し訳ありませんが、勤務時間の拘束があるのでなかなか行かないけど、行くチャンスがあったときに行ける場所が欲しいという声もあ

りました。

情報収集についても、主にスマホと言いましたが、いろいろな世代がいるので、シニアには紙が必要だということも分かっています。

アンケートを書いた職員は、一生懸命書いてくれていて、中込愛がある職員が多く、話を聞くと、昔から中込で遊んでいたという職員もたくさんいました。特徴的なのは子育て世代の多さで、私も含めて小中学生の子どもを中込駅周辺の塾に通わせている人が多かったです。中込駅周辺に塾が集中しているので、自分が働いている間にそこで勉強してもらいたい。送迎も楽ですし、終わったら自分が働いているところに来てくれれば良いということで、小中高生を塾に行かせている親が多かったです。そうすると、その子たちがお腹を空いても食べられるお店がなく、おにぎり屋や唐揚げ屋、パン屋が欲しいということになっているのだと思います。塾もたくさんあるので、そこにおにぎり屋さんなどがあれば親も一緒に行こうねということが言えるのではないかと思います。私たち30代、40代の世代は、あのストリートをみんな気に入っていて、あの場所がなくなっても良いという人は誰もいませんでした。水がきれいで、昔のように鯉や金魚がいればもっと遊べるのにね、という意見が多かったです。車道を敷くよりは、昔みたいに子どもたちが裸足で遊べるようにしてもらったほうが良いという意見が恵仁会としては多いです。

また、夏休みに学用品のリユースをやっているのですが、保育園以下は預けられますが、小学生を預けられる場所が児童館しかなく、夏休みは子どもが多いのでそこに行きたがらない子が多いようです。家で子どもだけで待っているのが親としては不安で、昼休みに飛んで帰って子どもたちにご飯を食べさせるということもあるので、中込のサングリモの1階など開放していただき、高校生や子どもたちが夏休みに勉強できるスペースがあれば良いと言っていました。子どもが南高や北高に通っている親御さんも多いです。中込を通るところで、子どもと離れるのが心配だから中込会館やサングリモを開けてほしいということをお母さんが多かったので、ぜひ検討していただけるとありがたいです。

石山座長

廣末委員ありがとうございました。

委員	<p>それでは、廣末委員からのご説明も踏まえ、ご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>生の声を聞いた中において、それらに応えられるような商売などを実現させられればと思いますが、やはり実現のためには大家さんなどの理解を得ていかなければならないと思っています。長年、商店街や料飲組合が要望してきたところとは少しズレがあると思いますが、中込を利用している方の声として大切に尊重していかなければならないと思っています。我々もまちを救いたいと思っていますし、多くの皆さんはワクワク感があるまちづくりという視点だと思っていますので、それを活かしてどうつくっていくか。在り方検討会でもご意見として物販が難しい状況である中で、これからは魅力ある飲食、お子さんが利用しやすく、なおかつ商売として成り立つものを考えていかなければならないと思っています。</p>
石山座長	<p>ワクワク感という言葉が出ましたが、昔に自分は中込のド真ん中にいたため、あまり感じなかったのですが、友達は今中込に行くということが少し妖しげな部分も含めて、ドキドキすると言っていました。</p>
委員	<p>8ページに「多様な人が勤める」とあるとおり、本当に色々な人に来ていただいて色々な商売の仕方をしていきたいと思いますが、ワクワク感を残しつつ、今あるものを生かすことをベースに考えながら…かと言ってあまりに多くのターゲットを目標にしてしまうと、なかなか目標が定まらないところがあると思います。どういう人に来てもらうかとある程度絞り込んで考えた方がまとまりやすいかと感じました。</p>
石山座長	<p>そういったことを演出するためということで先日、中島組合長が「駅を降りたら各国の料飲が揃っている」という意見を挙げていましたが、ご意見いかがでしょうか。</p>
委員	<p>やはり目的はひとつに絞らないと物事は進んでいきません。先日あった総会資料にも書いてありますが、中込の事業としてグリーンモールへの駐車帯推進事業を第一にやっています。</p>

<p>委員</p>	<p>総会での要望として、「パーキングはお客様にも非常に好評で活用されていると同時に、通行量も歩行者用道路のときに比べて、2.5倍に増え、営業している店舗からも『人通りが多くて活気が出る』など、商売に対する積極的な話が聞かれるようになった。『中央グリーンモール、銀座グリーンモールにも駐車帯を設置してほしい』というお客様の強い要望があり、平成27年に中込まちづくり協議会、構成団体、橋場各区長会、中込商店会協同組合、中込料飲組合、佐久市ホテル旅館組合にて、佐久市への要望書を提出した。各方面と協議を重ね、知恵を出し合うことで実現に向けて活動が続けることが第一の目的である。」とあります。</p> <p>まずはこれを基本にさせていただき、その上で駅前ビル構想ですとか、グリーンモールの川のせせらぎを残していただきたいとか色々な意見がありましたが、最終的にはグリーンモール駐車帯設置推進事業を一番にやっていただいて、要望書も平成27年に出しているのので、できればこれを最優先で進めていただきたいと思います。</p> <p>駐車帯は、Aブロックを最初にやってみて、事業効果を検証してから他のブロックについては考えましょう、ということでしたが、その後、進捗していない状況です。商店会も全て助成金でやってもらっているわけではありません。多額の借金をして、返済もまだ終わっていないような状況です。</p> <p>中込に駐車場がないと困るから無料にしろ、というご意見もあり、自分も無料で貸してそれで人が来るならば素晴らしいと思いますが、年間750～800万円ほどの賃料や修繕費など、実際毎年お金がかかります。商店会としてはニーズがあってもお客さんが来てくれるなら無料開放するに越したことはないのですが、維持費以上の収入がないと1年で破綻してしまいます。</p> <p>今日の話聞いて思ったのは、野沢のまちづくりは行政が絡みやすい、コンセプトも決まっていて、もともと将来性もあります。では、中込のまちづくりというのは、誰のためのまちづくりなのか。中込に住んでいる人なのか、商店街で商売をしている人なのか、会社で企業としてやっている人なのか。住んでいる人であれば子育てがしやすいなど、野沢と同じで良いはず。求められていることも、住みやすい、便利な買い物、フランチャイズが来</p>
-----------	---

<p>委員</p>	<p>るなど答えが明確なんですよ。ここで我々商店人が、チャレンジショップをやろうなどというのは必要ないのです。</p> <p>ただ、商店をやっている人や企業が今、皆さん苦しんでいるわけです。では、その人たちを何とかするためには、在り方検討会で官民一緒になって、どういうことが検討できるのかということだと私としては考えています。行政だけ、民間だけ、一個人だけでなくて、一緒に切り込んでいくきっかけになる検討会なのかと思っています。だから、行政がどうすれば行政としてまちづくりの支援ができるかといえ、やはり固定資産税の減額だとか、結局は商売として成り立っていかない限りは何をやってもダメなんです。いくら家賃が安い、無料だとしてもお客さんがいなければ商売が成り立たない。だから、中込に新しいオフィスが入らないのです。中込で商売をやっている、企業を営んでいて活気を戻したいというのであれば、個々の魅力というのは民間なので、我々事業者が努力することです。良いものやサービスを提供して、それに対してお客さんが来てくれる。細かい魅力というのは、在り方検討会での話ではないです。</p> <p>トータル的に考えていただいて、民間の方の意見を聞いて、どういうことを行政と一緒に決めればよいのか、こういう政策をすれば新規で商売やってもよいという人もいるよね、などと考えるといえますか。先ほどのサングリモの1階を開放するという意見もすごく良い案だと思いました。時間で予約などではなく、あれだけきれいな施設なので、中学生や高校生に夕方開放するというのは良いと思います。</p> <p>今日聞いていて、やはりまちの理想って野沢のような気がしました。佐久平も商業の充実と言っても、結局イオンが中心で、他のまちでイオンが撤退したら、まちが死んだというところもあります。そういうところに依存するのではなく、今までにない行政のサポートを仕掛けるというのを佐久市で援助していただきたい。</p> <p>中田さんと同じような話を在り方検討会のときに私のグループでもして、行政側として人を集めることはやってほしいです。それは保育園や高校を持ってくるなど、人を集める仕組みを行政でやっていただき、それで人が集まることが分かれば、お店を開きたい人も出てくるのではないかと思います。サングリモの</p>
-----------	--

1階も、今ワークテラスにいる人たちが「サングリモの1階もテレワークができて、子どもがいられるように遊具を置いて遊ばせながら仕事をして、明正堂でコーヒーを買ってきて食事をするとか、チャレンジショップとしてお店を開いて、うまくいってお客さんがついたら、商店街の中にお店を開いてもらうとか、そういう流れが作れたらいいよね。」と話していました。家主が分からないなどの問題がありますが、その辺りは、前にまちづくりをやっていた人が散々やってきました。それなりに話を聞けば、「テナント募集しています。ここに電話してください。」とあちこち全部ちゃんとやってあるはずです。それで家賃が高くなったとき、行政として、家賃をどうやって安くしてくれるのか、補助金の申請を商工会議所の人はどうやって指導してくれるのか、最後の詰めの部分をきちんとフォローアップしてくれさえすれば、数年前にイノベーションをした人たちが実際やってくれてあるという話を聞いていて分かったので、行政がどこまで手を貸してくれるかがポイントだと思います。あと家主が分からなくなった店舗の家主をどうやって見つけて、どうやって話をつけていくか。

それから駐車場に関してですが、恵仁会の裏の立体駐車場も病院が賑わっているのは午前中だけで、午後は往診や手術に入るためガラガラです。夜はほとんど使っておらず、中込会館も使われているのも昼間がほとんどなので、駐車場を、夜は中込商店街のために開放できないかと思っています。おそらく色々な制約があるので、その辺りは行政にお願いすると思いますが、商店街で利用してもらったら、その店舗で駐車券を出して無料にするとなれば、一箇所で分かりやすくてみんな使えると思います。実は駐車場はたくさんあるということは、以前に商店街の皆さんも言っていて、少し前のものですが、地図もあります。ネットでも見られるようになっていて、実際に私たちが中込に行くと、遠くから来ている人はそこに停めていて、200円とか大した金額でもないので、有料でもちゃんと払って使います。ちゃんと明示さえしてくればいいのかと思います。中込のホームページを立ち上げるのにお金がかかりますし、それを商店街の人がやらなければならないのか、あるいは地域おこし協力隊のような人が来てやってくれる仕組みを行政側でつくってもらえるのかが疑問です。プロデュース的な人が1人来て、ホームページも運営していただいて、環境も整えてくれる人を市が雇ってやってくれるのか知れた

<p>委員</p>	<p>いです。やらなければいけないことは見えてきて、あとはそこに人が投入できるのかだと思います。</p> <p>今は、いろいろなものが画一化されて商業施設で提供している中で、そこに勝つためのワクワク感となると、やはり独自性がある、その人にしか提供できないサービス、大規模の展開を考えていないようなところに魅力を感じる人が多いのではないかと思います。</p> <p>佐久市の統計を見ていると、転入超過にはなっていますが、結局のところ県内の市区町村の人口を集めている傾向が高く、遠くの県からの転入超過はなく、近めの東京などからということも見て取れます。エリアで言うと浅間地域が増えていて、野沢、中込は横ばいです。ワークテラスを運営していても、私の知り合いも7人ほど移住してきていますが、まずは佐久平周辺に住む傾向があります。佐久平周辺のマンションに住んでみて、一戸建てを建てたいとなったときに選ばれる場所が野沢、中込、というように棲み分けできたらおもしろいと思っています。</p> <p>今、佐久穂町で「m i k k o」というドーナツ屋さんが始まったり、本屋さんが始まったりしています。それは、やはり共働きでテレワーカー的に佐久市に来て住んでいる人がどこがいいかとなったときに、大日向小に通学している世帯も含めて、選ばれているのですが、ああいう人たちを取り込めるような、ファミリービジネス、独自の小さいけれど魅力的な商売を始めたいと思ったときに、中込に行きたいと思われるようにするといいいのかなと思いました。いわゆる佐久市に血縁関係がないIターン系の人を取り込む力を佐久市も持ち始めている感じだと思います。いつでもマンションの共用スペースにゴミを捨てられていた人にしてみると、地域の中に入っていき衝撃はどうしても根深く、そのために結局、佐久平周辺に行く傾向が強いのかなと思います。共働きのテレワーカーたちが次に自分のビジネスを始めたいと思ったときに選んでもらえるように稼働したらよいという視点で考えたときに、サングリモを移住して起業している人の接点を生み出せる場や、放課後に自習やダンスの練習をして安全に集まれる雰囲気があるだとか、子育て期の女性に特化したワークスペースの機能をつけるなどにはどうかと思います。学生と子育て期の女性の利用時間は、それほど被らずに運営できるのではないかと</p>
-----------	--

<p>委員</p>	<p>と思います。ワークテラス佐久ではなく、中込に特化した形のものをつくっていくのはおもしろいのではないかと思います。</p> <p>「過去の中込は良かったね」と言われるのは、人の集まるまちという部分だと思います。野沢を比較されていますが、野沢は暮らすまちということであれば、こちらは行政の分担の比重が大きくなると思います。一方で人が集まるまちとなると、誰がやるのか。簡単に言えば、まちの再開発ですよ。世間一般的には再開発というのは、デベロッパーやゼネコンなどそれなりのところがやっています。なぜかと言えば資金力、企画力、そして、人をまとめる力があるからです。では、その部分の中込では誰がやるのか。全てを備えた人がいるならばその方をお願いして、いないのであればそれぞれに長けた人を集めて一致団結してひとつの考え方にまとめないとできないのではないかと思います。個々の意見は色々ありますが、集約しても参考ですよ。放っておいて自然発生的にいろいろな商売ができて、それでまちがまとまることはないと思います。やはり誰がこの話をやるのか、ここに根付いて実行する人、資本を投下する人、足並みを揃えて考え、継続して進めていく人を選ばなければ話は進みません。そこを固めてからいろいろな意見を集約してどうあるべきか考えていくのが、ひとつの方向性ではないかと考えました。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど学童保育の話が出たときに思ったのが、地方は学童保育の数がそれほどありませんが、東京など首都圏では会社として学童保育を運営しているところが結構あります。小学校や中学校の教室がそのまま学童保育になるといった運営の仕方もあったのではないかと思います。</p> <p>今回のまちづくりの方向性は本当に難しいと思います。しかし、ある程度意見を集約してもらわなければ、改革は大きく展開できないと思います。今まで「商業のまち」などいろいろな意見を述べられていましたが、JRとして仕事をしていて、今日も佐久大学の生徒さんが社会実習に駅に来ていただきましたが、駅側ができることは何かと考えたとき、いろいろなものがこのまちにできたとき、いかにこのまちにお客さんを連れて来るかという手段を考えることはやっていけるかと思います。</p> <p>個人的に思うのは、人に集まってもらったとき、グリー</p>

<p>委員</p>	<p>ンモールに何かを建てる。パブリックビューイングでサッカー観戦ができる場所や、劇場までいきませんが、子どもの発表会ができる場所をつくと、周りへの活気につながるのではないかと思います。</p> <p>私は中込にあまりワクワクする感じを持っていなかったのですが、今私がワクワクする感じと言ったら、先ほど話に出た小さな劇場やマイナーな映画を週1回上映する場所だとか、おしゃれな喫茶店が欲しいなどありますが、しかし、それも人が集まった結果として誰かが動かすことにつながっていくのだろうと思います。</p> <p>私は中込に食事に行くのですが、最近は飲みに行けていません。かつて行っていたショットバーの雰囲気が好きです。駐車場も1度お店に行ってからまた戻って探すということをしていました。お聞きすると結構駐車場があるとのことなので、きちんと調べていきたいと思います。佐久平とは違う変わったお店や、おしゃれなお店があるところが、「商業のまち」としては素敵だと思います。</p> <p>また、佐久大学の学生が小海線のお話を聞かせていただいたということで、佐久大学の間福祉学部ではコミュニティフェーズプランニングという地域を知る授業で、今回、小海線を学びまして、イベントがあるときに小海線に乗ろうという話につながっていくのではないかと言っていました。そのことだけではなく、看護学部でも地域生活者交流実習というものがあり、ポールウォーキングにどのような健康効果があるか10人くらいでチームをつくってやるなど、地域と色々な関わりを持つことをやっています。佐久の文化や歴史を学びながら活動をしていこうというものが動き始めていて、地域に近づいてきていると思っています。看護学部は病院や施設に目が集中していましたが、新しい学部ができたことにより見方を広げて、合わせて看護の部分も一緒にやっていけるようになっていく気がしています。中込だけでなくも佐久地域に参加していければと思っています。</p> <p>私も子育て時代、保育園に預けているときはまだ良かったものの、学校に行くようになったあとは、もっと大変だと思いました。学童保育の整備は欲しいと思いました。3年生まで学童保育に入れる地域は多く、お弁当を持たせていました。子どもたちは友達</p>
-----------	--

	<p>関係をそのまま継続し、先生方もとてもよく指導してくれて、勉強面や生活面もみてくれて良かったと思います。安心できる子育てはキーワードだと思っています。</p> <p>もう一つ、塾に通う子どもたちが食べるものに困るという点について、一般的には軽いものを食べてから行くように用意して出かけますが、例えば、恵仁会の看護師さんのように、お母さんが働いている間に子どもたちが塾に行く場合は、やはりテイクアウト、あるいは先ほど昼と夜を分けてオープンしているが、その間の時間は閉まっているというお店もあると聞きましたが、もう少し長く開けていただいて、安心していけるお店ができるなど、子どもたちが食べられるようになればいいなと思います。週末に大きな買い物をするときにはイオンなど大きなスーパーに行きますが、日頃ちょっとしたものを買いたいというのが母親の気持ちだろうと感じました。</p>
<p>委員</p>	<p>本日代理で参加しているため、的外れな意見もあるかもしれませんがご了承いただければと思います。</p> <p>昨年度の一年間、長野から電車で通勤して中込駅から自転車で合同庁舎に通っており、まちの中を見てきました。先ほどから意見が出ているように、こういうお店があった方がよいとか、ショッピングモールがどうなのというのは、ここで議論してどうこうというのは難しいかと思います。当初のお話どおり、人が集まる、流れができるということにターゲットを絞るべきだと思います。どういう人を集めるのか、どういう人の流れを作るのかによると思いますが、それによって例えば子どもたちや高校生が勉強する場所が必要なのか、水辺を整備すべきかなどを進めるのがよいと思います。行政も皆さんと一緒に進められるという視点で、どういう人にどういうものが必要か絞って検討すべきだと感じました。</p>
<p>石山座長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様からのご意見を踏まえながら、市の構想策定に反映させていただければと思います。</p> <p>続きまして、(3)「まちづくりの方向性を踏まえた個別事項の検討項目について」、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<p>(3)まちづくりの方向性を踏まえた個別事項の検討項目について</p> <p style="text-align: center;">【資料5により説明】</p>
石山座長	<p>ただ今、事務局から説明をいたしました、「まちづくりの方向性を踏まえた個別事項の検討項目について」、ご意見等ございますでしょうか</p>
委員	<p>分科会で分けて掘り下げて話し合っていこうという意図は分かりますが、出席したメンバーからは「こういうのがあったらいいよね、こういうことしたいよね」しか出ないと思います。そのメンバーがお金を入れてその事業をやろうとするのに対して、では行政が何をできるのか、という話し合いの場でないと、あれがほしだけで終わってしまい、話し合いの場を持つ意味がないと思います。具体的に補助金を使って何をやるなど、そういうことが必要です。実際に私も新しいビジネスを今度やろうと思っていますが、行政が関わると進まないし、運営もできないし、税金を投入するということは儲けを出しづらく、平等性がない。ではどうするか、ああいうことをやりたいとなったときは、個人として、法人としてやるしかないのです。今回は、国がビジネスにチャレンジする業者を応援する助成金があるので、そういったものを利用しながらやろうと思っています。やはり中込の固定資産税を考えると、儲かるのかと若干思いますが、始めないことには前に進んでいかないと、その集合体がこの有識者会議だと思っています。いろいろな人がそういうことをやりたい、うちは何に協力できるかというような形でないと、ああしてほしい、これがほしいで話が終わってしまう。中込をワクワクさせようという目的は決まったけど、誰が何をやるのか。八十二銀行の支店長がおっしゃるように、結局は資本を持ってきて引っ張ってくれる人がいれば、進んでいきますが、野沢のように進んでいかないと。思います。</p>
委員	<p>今まで来ていなかった方が在り方検討会に集まって多様な意見がある中で視野が広がりました。中田理事長もおっしゃっていただいた具体的なことは、分科会で議論すればいいと思います。また、恵仁会のアンケートもここまで詳しい声はなかったので、とても貴重な資料です。これを基礎資料という形にして、有効活</p>

	<p>用しながら、多様な意見を集めて進めていければ良いかと思ひます。</p>
委員	<p>恵仁会の裏の立体駐車場を使えるようにするとか、佐久つと支援金などでホームページを整えてくれる人をお願いするとか、パブリックビューイングで映画祭をする、野菜を売るなどそういったすぐにできることがスモールスタートという認識で合っていますか。</p>
事務局	<p>実際に何がスモールスタートすべきものかというところもしっかり考えていかなければいけないと思ひます。イベントの目的をしっかりと立てた上で、どうアプローチするかを分科会で話すのもひとつだと思いますし、大家さんが協力してくれる店舗がひとつできたから、こういう形で再構築してみようか、など失敗を恐れずに最初の一步をやっていくのに、どのようなものをしていけばよりよいかを議論するというのが、我々の持っているスモールスタートのイメージです。ただ、これは我々が勝手に思っている事柄であるので、皆さんの意見を聞きながら検討しようと思ひております。</p>
委員	<p>具体的に何をする分科会か挙げてもらった方がイメージしやすい気がします。最終的にはプロデューサー的な人が入って、佐久市の再開発ということはまちとしてはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>大きな意味でまち全体のデベロッパーのようなものについて、今、市が具体的な考えを持っているということはありません。一方で補正予算として、部分的にまちづくりを変えていく方策について、コンサルタントの意見を聞くような予算要求は現在させていただいております。社会実験なども行っていけるような予算です。もう少し具体が見えたところで個別に相談させていただきたいと思ひます。</p>
石山座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>まちづくりの方向性を踏まえた各論の検討について、今後は、在り方検討会内で、個別に分科会を開催する予定とのこと。在り方検討会に参加されている委員の皆様もいらっしゃること</p>

石山座長	<p>から、ぜひ活発なご議論をよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>4 その他</p> <p>最後に、「その他」であります、委員の皆様から全体を通して何かございますでしょうか。</p>
委員	<p>参考までに、私は群馬県みなかみ町でも事業をやっています、経営している一般社団法人で学童事業をやっています。学童事業では小学1年生から6年生まで38名がいて、そこと併設する形でオープンスペースを運営しています。学童保育と児童館は全く別物です。地域おこし協力隊についても、みなかみ町の仕組みは結構おもしろくて、佐久市の場合は佐久市役所付きの地域おこし協力隊ですが、みなかみ町はうちの方でも受け入れをしていて、行政から委託されて僕が人事権を持っていて、終わったあとも面倒を見る、来年も新しく2人受け入れます。もうひとつ、利根商業高校の通学に使われているJR後閑駅が、いま無人駅になってしまったのですが、車掌さんがいたエリアを改修して自習室になっていて、学生証を見せてくれた人たちに対して自習スペースとして開放しています。その運営についても地域おこし協力隊で回しているの、仕組みがもし必要であればつなげられればと思ひます。</p>
石山座長	<p>それでは、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>委員の皆様、活発なご議論ありがとうございました。</p> <p>本日の有識者会議でのご意見等を踏まえまして、今後の在り方検討会での議論を進めてまいりたいと考えておりますので、委員の皆様のご協力のほどよろしくお願ひいたします。</p> <p>さて、次回の有識者会議の開催は、12月頃を予定しております。詳細につきましては、改めて文書で通知させていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p>
石山座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で議事を終了いたします。進行を事務局にお返しします。</p>

事務局	<p>5 閉会</p> <p>皆さん貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>どちらかというとな具体的な事業を考えていかなければ、ざっくりとした構想をいくら作ってもダメだろうと思っています。本来は構想を作って目的に沿って、具体的な事業を官と民で何をやっていけばよいかという時間軸を考えていましたが、どちらかというとな待たなしという意味で、いろいろと修正を加えているところもごさいます。また、いろいろなご意見を聞きながら進め方を考えていきますので、よろしくお願いいたします。地域おこし協力隊について、佐久市でも市の側の事業として雇う場合と、こんな地域にしたいからということ雇う場合と2パターンを用意しています。特に、望月地域のNP Iなど、皆さんが望月を何とかしたいからと言って、ずっと雇われている地域おこし協力隊もいます。人材的な部分に関しては、地域おこし協力隊だけに限らずいろいろな形の支援があります。地方創生の支援やアドバイザー業務の支援など、市としても提供できる情報はしっかり出して、地域で何ができるのかという場面もつくらせていただきたいと思います。区のほうで、こういった事業、仕組みを地域おこし協力隊でやりたいというものがあれば、来年度から募集をかけることもできますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、第2回中込地区のまちづくりの構想策定に係る有識者会議を閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----	--